

介護福祉士養成教育における「終末期介護」授業の教育効果に関する実践報告—学生の意識の変化による検証—

新潟医療福祉大学 社会福祉学科 宮下栄子

【背景】

平成21年度より「社会福祉士および介護福祉士法の一部改定」により介護福祉士養成課程が再編成され、各養成校では独自のカリキュラムを組む必要があった。

一方、高齢者の終末期をめぐる、平成20年4月、医療制度・18年4月介護保険制度に新たな改変がなされ、新たな社会的局面からの教育の必要が出てきた。

またこれまでの筆者の介護福祉士養成教育の中で「死生観教育」「終末期介護教育」が学生の「介護観」に大きく影響を与えているのではないかと、この考えも明らかにしたくこの研究に取り組んだ。

【方法】

- (1) 「終末期介護」の授業計画の立案及び授業実践
- (2) 授業計画に基づく授業実践 前後のアンケート調査

期間：授業実施期間 平成11年11月より12月

1週間に1コマ×7回

対象：社会福祉学科 2年生 40名

【結果】

1「終末期介護」全体授業計画

第1回 テーマ：「生命と死」「役割と関係性」

- 目標：・「死」を生活の延長線上でとらえることができる
・生活は人との関係性の中で営まれることを理解できる。

第2回 テーマ：「生命の尊厳とは」

- 目標：「死」と戦争歴史の中で命がどのように扱われてきたかを認識することにより、「生命の尊厳」について考えることができる。

第3回 テーマ：「死」と社会・社会保障No1

- 目標：現代社会の「死」の有り様を知ることによって、生命の尊厳と社会的責任について学ぶ

第4回 テーマ：「死」と社会・社会保障No2

- 目標：「死」を社会保障制度の視点から見ることができる。

第5回 テーマ：介護保険施設における看取り

- 目標：介護保険施設における看取りの現状を知る

第6回 テーマ：「死」の病態変化と観察・悲嘆の介護

- 目標：・臨死期の病態変化について理解し、観察することができる
・臨死期にふさわしい介護対応について考えることができる

第7回 テーマ：医の倫理

- 目標：死の自己決定・死の尊厳について考え倫理観を築く

2 授業実践前後における学生の意識の変化

1) 調査の項目と尺度

アンケート調査項目は1～12項目を設定した。12項目の内4項目を「臨老式死生観尺度」1) から「死生観」がより「介護観」「使命感」につながると考えられるものを選択して使活用した。その他の8項目については、各授業のテーマ・学んでもらいたい目標にあわせて、筆者が考案した。項目は以下の通り。

- ①死に逝くひとに死後の世界はある
- ②死は恐ろしいのであまり考えないようにしている
- ③人の生死は目に見えない力（運命・宿命など）によって決められている
- ④私は人生にはっきりとした使命と目的を持っている
- ⑤死にも社会性がある
- ⑥人によって生き方があるように、死に方がある
- ⑦死ぬ時も生まれる時と同じように誰かの支援が必要である
- ⑧孤独死は、一人暮らしの高齢者の問題である
- ⑨介護者として死に逝く人の前で悲しみを表現するのは良くない
- ⑩「死」の自己決定は自殺を意味する
- ⑪本人が表明した「尊厳死宣言」「臓器移植」登録は最後まで尊重されるべきである
- ⑫家族への悲しみのケアは本人の死後行われるものである

この回答は 1 当てはまらない 2 ほとんど当てはまらない 3 やや当てはまらない 4 どちらともいえない 5 やや当てはまる 6 かなり当てはまる 7 当てはまる の7件法で実施した

2) 有意差検定

データ分析は SPSS13.0 にて死生観尺度と他の項目間で Mann-Whitney の u 検定を実施し関連性を検討した。明らかに有意差を示した項目は(* $p < 0.01$) ⑤死にも社会性があるであった。有意差傾向を示した項目は(* $p < 0.05$) ⑥人によって生き方があるように死に方がある。⑦死ぬ時も生まれる時と同じように誰かの支援が必要である であった。

【考察】

社会福祉士・介護福祉士養成教育であることを最重視し、死と生活をいかに結びつけるか、社会現象をいかに生活として実感させるかに重きをおいた。このことは運命論・宿命論にとらわれがちであった「死生観」を、一人称から二人称へそして生活する人々・介護の対象とする生命として捉える事ができる傾向を示すようになったと考えられた。

授業全般を通して特に視聴覚教材を多用した。理念・価値観に関わる授業には心に響く教材の選出が必要であるが、「終末期介護」の授業においても各回の学生の感想に、感性豊かな内容が見受けられた。

「生命の尊厳」を基盤とする介護観に「終末期介護」の授業の果たす役割は多大なものがあるとの認識を深めるに至った。